

## ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2019

### 表彰式を開催

～祝！活動団体賞受賞！～



札幌シーニックバイウエイ藻岩山麓・定山溪ルートは「地域住民と道路管理者の地域協働による板割拡幅記念植樹区間景観保全活動」により「ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2019」活動団体賞を受賞したので、表彰式を以下のとおり開催します。

ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクトはシーニックバイウエイ北海道の活動で、他の模範となり将来への発展性が高く評価出来る活動を選出、表彰する取組として平成20年度から実施しています。

この度令和2年11月13日に開催された「第17回シーニックバイウエイ北海道推進協議会」において活動団体賞を受賞した札幌シーニックバイウエイ藻岩山麓・定山溪ルートの表彰式を行います。

傍聴・取材を希望される報道関係者の方は、当日、下記までお越しください。

#### 記

日 時 令和3年4月30日（金）13：15～13：45  
場 所 札幌開発建設部 4階1号会議室  
内 容 「ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2019」表彰式

※前年度の表彰式の状況はこちらをご覧ください。

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/kouhou/splaat000001mkkd-att/splaat000001pxax.pdf>

※新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策としてマスクの着用、3密の回避、消毒液の設置、体温測定などを実施いたします。

【シーニックバイウエイ北海道とは・・・】

みちをきっかけに地域と行政等が連携し、『美しい景観づくり』『活力ある地域づくり』『魅力ある観光空間づくり』を目的に地域ごとに特色のある様々な活動が進められ、全道で指定13ルート、候補3ルートの約460の団体が活動しています。詳細は、シーニックバイウエイ北海道推進協議会ホームページを参照ください。

[https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/dou\\_kei/ud49g7000000nOut.html](https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/dou_kei/ud49g7000000nOut.html)

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部

都市圏道路計画課 課長 中根 亨（電話番号 011-611-0216）ダイヤルイン

都市圏道路計画課 課長補佐 前田 哲哉（電話番号 011-611-0216）ダイヤルイン






札幌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/>





HOKKAIDO®

# ベスト・シーニックバイウエイズ プロジェクト2019 受賞プロジェクト一覧

| 受賞部門   | プロジェクト名                            | ルート名                           |
|--|------------------------------------|--------------------------------|
|  <b>最優秀賞</b>             | 函館新道「花いっぱい活動」及び「シーニックdeナイト」        | 函館・大沼・噴火湾ルート                   |
|  部門賞<br>(美しい景観づくり賞)      | 函館新道「花いっぱい活動」及び「シーニックdeナイト」        | 函館・大沼・噴火湾ルート                   |
|  部門賞<br>(活力ある地域づくり賞)    | 「みらいの森」育樹プロジェクト                    | 支笏洞爺二セコルート                     |
|  部門賞<br>(魅力ある観光空間づくり賞) | きた北海道エコ・モビリティの推進R3プロモーション動画の作成     | 天塩川シーニックバイウエイ/<br>宗谷シーニックバイウエイ |
|  <b>活動団体賞</b>          | 地域住民と道路管理者の地域協働による板割拡幅記念植樹区間景観保全活動 | 札幌シーニックバイウエイ藻岩山麓・定山溪ルート        |

# (参考) 活動団体エントリーシート

活動名称

地域住民と道路管理者の地域協働による  
板割拡幅記念植樹区間景観保全活動

エントリー部門

美しい景観づくり



ルート名称

札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート

## ①活動概要 (目的・目標、具体的な取り組み等)

### ●活動の目的・目標:

平成15年に板割沢拡幅事業の記念植樹が行われた。しかし、時間の経過とともに、樹木が成長し景観を阻害する状態になっていた。平成28年に小金湯さくらの森がオープンしたことを契機に、記念植樹区間の道路空間改善について検討を開始。その結果、平成28年度から、地域住民と道路管理者が協働で草刈りや樹木伐採、ゴミ拾いを実施する道路景観保全活動が始まった。この活動は、平成28年度から始まり、令和元年度まで毎年秋に継続して実施されている。

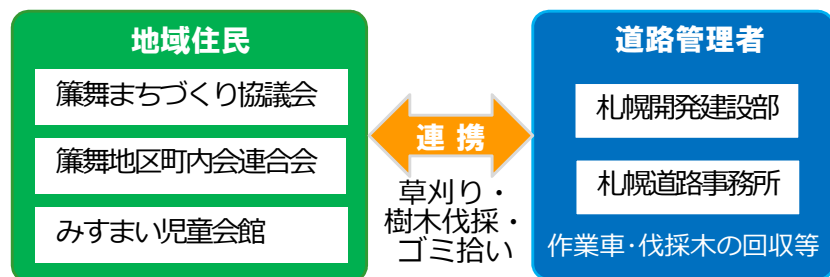
### ●活動内容:

- ・板割拡幅記念植樹区間での景観保全活動 (草刈り、樹木伐採 等)
- ・みすまい児童会館の子ども達もゴミ拾いや手作りの樹木板を設置するなど景観保全活動と一緒に参加している

### ●活動期間: 平成28 (2016) 年度～令和元 (2019) 年度

- ・実施場所: 板割拡幅記念植樹環境整備区間 (L=0.3km)

## ②活動の体制



## ③PRポイント

### 【総意工夫した点】

- ・地域住民と道路管理者が連携し合い、維持管理活動を実施した点

### 【活動による効果】

- ・活動を継続していくうちに、沿道景観の美観が向上し、それに伴い、地域住民の地域への誇りと愛着が高まった
- ・地域住民の景観保全のノウハウの蓄積と景観保全への意識向上
- ・景観の向上により、ドライバーがゆっくり走行し安全性が向上
- ・子ども達への環境教育の場の提供
- ・熊出没頻度の減少



樹木伐採している様子



作業車で伐採木を回収



作業終了後の集合写真

活動実施場所

板割拡幅記念植樹エリアのうち2019年度環境整備区間 L=0.2km



児童館の子ども達が制作した樹木板

### 【2016年: 実施前】



エゾエノキ周辺に樹木が茂り背後の風景が見えない



4年間継続して景観保全活動を実施

### 【2019年: 実施後】



3年をかけ、植樹当時の添木を全撤去し、美しい道路景観を創出

# (参考) ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト

平成20年度よりシーニックバイウエイ北海道の推進に向けて、他の模範となるルート活動であり、将来への発展性が高く評価できる取り組みを選出し表彰する「ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト」の取り組みを実施。

ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2018  
 どうなん道の駅連携事業  
 (どうなん・追分シーニックバイウエイルート)



ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2017  
 ～地域・電線管理者と連携した「電線の見えない化」～  
 ビューポイントパーキングの景観改善 (電線移設)  
 (支笏洞爺二セコルート)



ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2016  
 いにしえ街道の景観を活かした街づくり  
 (どうなん・追分シーニックバイウエイルート)



ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2015  
 そらの森の植樹活動～地域で育てる森プロジェクト～  
 (釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ)



ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2014  
 「ライフコンシェルジュ (ご当地風土アドバイザー)  
 育成事業」 (トカプチ雄大空間)



ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2013  
 「タカラモノプロジェクト」 (支笏洞爺二セコルート)



# (参考) ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト

## ▼各賞決定までの流れ

募集開始

各ルートから活動の応募

### ■ 活動団体賞

各ルートによる投票

- ※対象：指定及び候補ルート
- ※自ルート以外に、持ち点10点を自由配点
- ※最多得点を得たプロジェクトを活動団体賞として選出

### ■ 部門賞、最優秀賞

ルート審査委員会にて審査

- ※対象：指定ルート
- ※ルート審査委員が、持ち点10点を自由配点
- ※最多得点を得たプロジェクトを部門賞候補として選出
- ※選出された部門賞候補から最優秀賞を選出

推進協議会にて活動団体賞、部門賞及び最優秀賞を決定

# (参考) ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト

ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2019のエントリー状況等

## <表彰>

●活動団体賞1件（指定・候補ルートを対象） 【エントリー数 16件】

●部門賞3件（指定ルートを対象）

### <エントリー部門>

- ①美しい景観づくり賞 【エントリー数 4件】
- ②活力ある地域づくり賞 【エントリー数 4件】
- ③魅力ある観光空間づくり賞 【エントリー数 5件】

●最優秀賞「ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2019」1件（指定ルートを対象）  
部門賞の中から1件選出

## <評価の視点>

地域の資源を発見・活用し、有形・無形の「新しい価値」を生み出しているか否かに評価の軸を置くと共に、以下の点に留意し、プロジェクトの評価を行う。

－部門賞及び大賞－

- 持続性（取組の継続性の程度を評価）
- 浸透性（地域内への広がり程度の評価）
- 拡張性（モデルケースとしての地域外へ展開の程度を評価）
- 連携性（地域同士や他団体との連携の程度を評価）
- 先進性（新しいものに取り組んでいく姿勢の程度を評価）
- 効果性（定量的・定性的な効果の程度を評価）
- 人材育成